

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成29年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立草加高等学校	Cグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校に寄せられる地域の期待に広く応えるため、多面的に目指す方向が学校像として示されている。学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されているが、明快かつ具体的な学校像となるよう工夫できると更に良い。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	目指す学校像を踏まえ、学校の取り組むべき方向が四つの柱として設定されている。やや網羅的な内容になっているので、中期的な視点に立ち、課題の解決に向けて、更に重点化した内容にすることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年のシートが作成されるなど、重点目標達成のための取組が進められている。学校自己評価システムを運営するための組織体制がやや不十分であるので、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を更に促していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	家庭学習時間を増加させるための週末課題の取組など、学校全体の目標に基づいて、分掌・学年等が目標を設定し、教育活動に取り組んでいる。方策については選択と集中を図るとともに、評価指標については、教職員間で目標の達成イメージが共有できるような分かりやすいものを設定することが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長は学校全体の組織力を高め、学校自己評価システムを生かした学校経営に取り組もうとしている。校長が状況に即して的確にリーダーシップを発揮して課題解決の方向を示し、教職員が共通理解を深め、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	アンケートや学校関係者評価を基に、取組を検証するための情報収集に努めている。アンケート結果を詳細に分析して達成状況や課題を把握し、次年度のより具体的な取組につなげてスパイラルアップを図るようにしていただきたい。
特記事項		